

森の…

いちばん!! 「目立ちたがり」

那須平成の森には様々な樹木がありますが、その中には他の樹や岩に絡みついて育つツル性の樹木があります。

ツル性の樹木は、細くて長いツルを伸ばすことに注力し、他の樹木に寄りかかりながら太陽の光をより多く浴びようと上へ上へと這い登っていき、高いところで葉を広げます。時には太陽の光を独り占めしてしまうような存在ですが、その中に、秋に一際目立つ「ツタウルシ」という名前の樹木があります。



ツタウルシの樹液にはウルシオールとラッコールという有毒成分が含まれ、触るとかぶれてしまうことがあります。このかぶれ成分は、人間以外の生き物にも作用するようで、摂取した場合、強いアナフィラキシーショックを起こす可能性があります。そういった有毒成分を持つことで他の生き物に食べられないようにするという、ツタウルシなりの生存戦略なのかもしれませんね。

9～10月に他の樹木に先駆けて紅葉し落ち葉も美しいのですが、触らずに目で見て楽しむようにしましょう。時期になればフィールドセンターのカウンターに見分け方などの案内表示を掲示するので、ぜひ確認してみてください。(植村)



那須平成の森「フォレストカフェ」

那須平成の森では、地元のコーヒー屋さんに出店して頂いています。今回は、出店して頂いている4店舗のうち、2店舗目のコーヒー屋さんをご紹介します。黒田原という地域で、ご家族でカフェを営んでいる「Cafe La Detente」さんです!

「那須珈琲 Cafe La Detente」ってどんなお店?

まるで、映画のワンシーンに入り込んでしまったかのような、どこか懐かしい、フランスの片田舎の雰囲気を感じられるお店です。そんなオシャレなお店でカフェと自家焙煎珈琲を営まれています。

使用している珈琲はすべてスペシャルティ珈琲。山小屋やキャンプ場のブレンド珈琲など、依頼者と打合せを重ねて多種多様なオリジナルのブレンド珈琲も作られています。



黒田原のお店▲

出店者 渡辺 実聖さんより一言!

那須町の黒田原にて、家族でカフェを営んでおります。那須平成の森で出店をさせて頂くようになって、早6年経ちます。この場所で珈琲を淹れるようになってから、自然への関心度がより高くなった気がします。

今では、登山や野鳥観察が趣味となり、自然に関わることで、自分の感覚が研ぎ澄まされ、その感覚や体験をお客様と共有できることが、ひとつの楽しみになりました。

皆様にこの場でお会いできることを心より楽しみにしています。



森ことば



今回の
お題

世の中にあふれている様々な言葉(偉人の言葉、名著や作品のフレーズ、流行語、ことわざや四字熟語など…)の中から毎号一つを取り上げ、インタープリターが那須平成の森の自然から、お題の言葉を受けて感じたものを探し、写真で語るコーナーです。

どっちかやわらかければだいじょうぶ

詩人 相田みつを氏の言葉。
お互いに硬いままだと全く進まないことも、どっちかが柔らかくなれば一歩前進する、という意味でしょうか。



これはタマゴタケの幼菌です。土に埋もれていますが、両側に硬いなかがあつたのでしょう、自らが変形しながら、大きくなっていました。

生まれついたその場所で、どうしても避けられない困難は自らを変えることで対処…タマゴタケのたくましさにも感じるところがありました。(小鷹)



インタープリターが言葉から連想するものは、自然、人…さまざまナスなあ。インタープリターという仕事は、人間としての“成長”も経験できるものなんだナスね。



那須平成の森にはツキノワグマが生息しています。クマとの不幸な事故を減らすためにもクマ除けの鈴を携帯し、ツキノワグマの生息地にお邪魔しているという謙虚な気持ちを持つことが大切です。

人間側がやわらかく対応することで森を安全に楽しく歩くことができるでしょう。(大沢)

様々な考えを持ったインタープリターが集まって仕事をしていると、意見がぶつかることも多くある。そんな時は、森に入り自然の多様さを認めるように、頭を柔らかくして広く物事を見るようにすると、また一緒に前を向いて歩いて行ける。(丹野)

